

オンライン教材を活用した自主学習の推進

女子栄養大学

効率的な自主学習を進めるために、解剖学、生理学系の複数の教科で授業支援システム（LMS）を通じて外部のオンライン教材にアクセスさせることを通じたeラーニングによる予習・復習の促進を進めている。

1. 実施規模

栄養学部食文化栄養学科および栄養学部二部保健栄養学科1年生

2. 授業での活用状況

本学園では、平成18年から短期大学部で外部サイトを活用したeラーニングを実施しているが平成22年後期から大学の栄養学部2学科でも導入を始めた。平成23年には、自主学習の重要性を講義で説明し、LMS上に掲載されている講義資料と連携させた外部サイトのオープン教材での自学自習を推奨するとともに、eラーニングによるオンラインテストで75%以上の結果を得ることを単位取得の条件にした。

3. 教材の内容

オープン教材の「基礎編」は、中学・高校で学んでいる生命科学に関連する基礎的な知識をトピック別にアニメーションによる動画と音声から学ぶことができる学習コンテンツである。（図1）

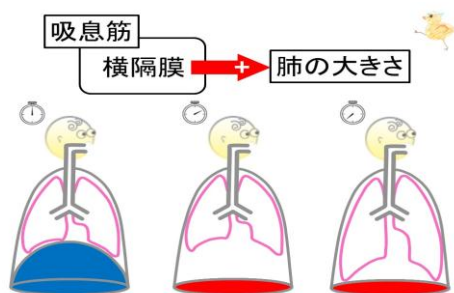
学生はeラーニングで自分の理解度に応じて、各自の学習日程でトピックを学ぶことができる。また、各トピックの最後には選択式の確認テストが準備されており、理解度を確認しながら学習することが可能になっている。（図2）

4. 活用の状況

平成22年度にeラーニングで学習したのは、食文化栄養学科が11.4%、二部学生が28.6%であったが、平成23年度はeラーニング学習を単位取得の必須項目したこともあり、履修学生全員が受講し、オンラインテストで75%以上の成績を収めて終了した。また、eラーニング受講の中で、学習を進展させ、自主的に関連科目のeラーニングを行った学生が食文化栄養学科で70.4%、二部では92.6%あり、予習・復習、自主学習の促進や成績向上に効果が上がっている。

5. 今後の展望と課題

短期大学部では、既に「基礎編」に加えて「高レベル編」のeラーニングを実施しており、自主学習および成績向上への効果が報告されている。大学においても、今回の試みからシラバスや成績評価と連動した予習・復習の重要性を理解させ、eラーニングを受講させることで学生の主体的な学びを促すことが確認できた。今後は、初年時に「高レベル編」を導入しさら発展的なeラーニングによる主体的な学びを促すことを計画している。また、本年度から新入生の基礎学力向上と学びの動機づけを目指し入学前教育で「基礎編」のeラーニングを導入した。課題は、複数回の指導でようやくeラーニングに取り組む学生を自主的に取りこまさせる効果的な指導方法である。



構造的に吸息筋であることを、構造的に吸息後に肺が伸展する様子的なイラストで示すことで、初学者が要点をとらえやすくしている。

(図1)

? チャレンジクイズ

- ★★ 横隔膜は、 吸息筋 呼息筋 である。
- ★★★★ 横隔膜などの 吸息筋 呼息筋 **正解!** が収縮すると、胸腔と肺とは 縮小 伸展 する。
- ★★★★ 胸腔と肺とは、 吸息時に縮小、呼息時に伸展 吸息時に伸展、呼息時に縮小 **正解!** する。

これ以上詳細にはできない、基本的な二択クイズ。正確な答えをクリックすると、ただちに「正解!」がフィードバックされる。

(図2)